

は し が き

第13回のプログラミング・シンポジウムが開かれることになった。10年ひと昔というように、私個人の経験からいっても、“10年”はある仕事の発展の一つの区切りとして、いかにもよい期間で、過去をふりかえって見、先を考えて改めるならば改めるという時期である。このシンポジウムについても同じことがいえる。事実この二、三年それが行なわれた。

情報処理に関する関心を持つ人々の層の厚さも、拡がりの広さも、今では前とちがってしまった。シンポジウム本来の意味を十分に発揮できる限度を遙かに超す人々が定着してしまったということが、この二、三年の論議的になった。

この事実に対しての方法も試みとして、大体はよかった。今回もこれと同様の方法を計画した。この実験も成功するよういっているのである。

今回はすでに予告されているように、宿題研究としては、“シミュレーション”を採り、また夏のシンポジウムには、“情報公害”と“システム制御”との二つ選んで、小集団で濃縮された討論が行なわれた。これらはこのシンポジウムで報告される。

また将来をになう若い人々の集団である若手の会も夏に行なわれたので、それにわずかな手をかした。これについてもここで報告してもらうことにしている。

米田信夫幹事長をはじめとする幹事団のほとんど1年に近い間の努力に対して深く感謝する次第であるが、事務を担当して下さった慶応工学会の人々にも感謝の意をあらわしたい。

プログラミング・シンポジウム委員会

委員長 山内二郎

本 PDF ファイルは 1972 年発行の「第 13 回プログラミング・シンポジウム報告集」をスキャンし、項目ごとに整理して、情報処理学会電子図書館「情報学広場」に掲載するものです。

この出版物は情報処理学会への著作権譲渡がなされていませんが、情報処理学会公式 Web サイトの https://www.ipsj.or.jp/topics/Past_reports.html に下記「過去のプログラミング・シンポジウム報告集の利用許諾について」を掲載して、権利者の検索をおこないました。そのうえで同意をいただいたもの、お申し出のなかったものを掲載しています。

過去のプログラミング・シンポジウム報告集の利用許諾について

情報処理学会発行の出版物著作権は平成 12 年から情報処理学会著作権規程に従い、学会に帰属することになっています。

プログラミング・シンポジウムの報告集は、情報処理学会と設立の事情が異なるため、この改訂がシンポジウム内部で徹底しておらず、情報処理学会の他の出版物が情報学広場 (=情報処理学会電子図書館) で公開されているにも拘らず、古い報告集には公開されていないものが少からずありました。

プログラミング・シンポジウムは昭和 59 年に情報処理学会の一部門になりましたが、それ以前の報告集も含め、この度学会の他の出版物と同様の扱いにしたいと考えます。過去のすべての報告集の論文について、著作権者（論文を執筆された故人の相続人）を探し出して利用許諾に関する同意を頂くことは困難ですので、一定期間の権利者検索の努力をしたうえで、著作権者が見つからない場合も論文を情報学広場に掲載させていただきたいと思います。その後、著作権者が発見され、情報学広場への掲載の継続に同意が得られなかった場合には、当該論文については、掲載を停止致します。

この措置にご意見のある方は、プログラミング・シンポジウムの辻尚史運営委員長 (tsuji@math.s.chiba-u.ac.jp) までお申し出ください。

加えて、著作権者について情報をお持ちの方は事務局まで情報をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

期間：2020 年 12 月 18 日～2021 年 3 月 19 日

掲載日：2020 年 12 月 18 日

プログラミング・シンポジウム委員会

情報処理学会著作権規程

<https://www.ipsj.or.jp/copyright/ronbun/copyright.html>